

今日は、ハンカチを忘れた。ほぼルーティンで身支度を進めているはずであるが、時々忘れ物をする。ルーティンになっていないということだ▼「習慣」はつかないと聞いたことがある。正しくは、意識することで「習慣化する」と言う。「習慣になっている」ではなく「意識して習慣にしている」のだ▼そう考えると、子どもたちが「忘れ物をしない」「宿題を出す」決まった時刻に家を出て、決まった時刻に家に帰ってくる・・・この日常を積み重ねられることは、奇跡ではないかと思えてくる▼子どもたちの意識を持続させるために、家庭はもちろん教職員も力を注いでくれていると思うと改めて頭が下がる。きっと「早く〇〇しなさい！」という言葉がけではないはずだ▼ある男の子が毎朝玄関口で、「ママ！忘れ物ない？」と尋ねたそう。お母さんは、決まって「大丈夫！学校行けばわかるよ。」と答えていたという。その子は小学校6年間ほぼ忘れ物はしなかったそう。ある女の子は、お母さんが「痛い！」と言うと必ず救急箱を抱えて駆け寄ったという▼ちょっと笑える話であるが、「素敵な習慣」だと思う。子どもが「意識して」習慣化していることはあたりまえのことになっている。そんな日常の素敵。子どもと担任、どちらが多く語れるのだろう。今週末から個別懇談が始まる。子どものあたりまえを「素敵な習慣」として分かち合いたい。